

小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 38

1. 基本情報			
<1> 事業・業務名	市営住宅長寿命化計画推進事業		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	① 社会環境等の状況変化により、再検証が必要と思われる事務事業		<4> 継続評価 新規評価の別
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり	<6> 担当部(局)
	中項目	5-4 住みたい住み続けたい住環境	<7> 担当所属
	小項目	5-4-1 住宅	<8> 担当係等
	施策	市営住宅の管理と施設の適正な予防保全	
<9> 根拠法令・計画等	公営住宅法、小山市公営住宅等長寿命化計画	<10> 関連・類似事業	
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	8 款 5 項 1 目
<15> 実施手法	「その他」の場合 ()		

3. Check - 評価 -			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	4.市民ニーズによるものではない
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1.向上の余地はある
	効率性	<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいか?	1.大きい
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		1.向上の余地はある	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	2.検討は困難である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	1.妥当である	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	2.改善の余地はある	理由	公営住宅の長寿命化を図り、入居者に安全で快適な居住環境を提供できている。しかしながら工期の調整や材料などを検討することで工事のコストを軽減する余地がある。

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	安全で快適な住まいを将来にわたって提供するため、予防保全的な観点から計画的に給排水設備や外壁等の改修工事を行うことにより、市営住宅の長寿命化を図る								
目的	<17> 事業・業務の目的	公営住宅等ストックの長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図るとともに、効率的かつ計画的な改善を実施することで、入居者の安全で快適な居住環境を確保・充実する							
	<18> 事業・業務の対象	市営住宅							
手段	<19> 平成30年度の活動内容	工事件名 ・扶桑市営住宅14号棟屋根外壁改修工事・横倉市営住宅4棟解体工事 ・扶桑市営住宅36号棟貯水槽改修工事・扶桑市営住宅1・2・3・5・6号棟屋外給水管更新工事							
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
				計画	実績	計画	実績		
		改修工事の件数	件	3	3	3	3		
成果	<21> 事業・業務の成果	市営住宅の屋根、外壁及び設備を改修することにより、入居者の居住環境を整備し、施設の長寿命化にも貢献する。また、耐用年数を超過した建物の解体を行うことでライフサイクルコストの縮小を図る。							
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度			
			千円	計画	実績	計画	実績		
		事業費等	千円	40,263	34,609	61,930	48,530	78.4%	
			国・県補助金	千円	15,500	15,500	22,000	18,500	84.1%
			地方債	千円	15,500	15,500	22,000	18,500	84.1%
			その他	千円					
		一般財源	千円	7,824	2,170	16,500	10,100	61.2%	
		人件費	千円	1,439	1,439	1,430	1,430	100.0%	
		正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.2	7,195 × 0.2	7,146 × 0.2	7,146 × 0.2		
		他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×		

4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	対象となる住棟の状態や工事の実施時期に応じて、入居者に対して最大限配慮し、公営住宅長寿命化計画に基づく改修工事を実施することにより、ライフサイクルコストの縮減を図り、入居者の安全で快適な居住環境を確保する。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 策定した長寿命化計画に基づき、事業を確実に実行していくことが必要である。
事業の方向性	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 市営住宅に対するニーズや社会情勢の変化に柔軟に対応できるよう、必要に応じて改修事業の仕様を精査しながら実施していくことが大切である。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	平成28年度に改定した小山市公営住宅長寿命化計画に基づき改修工事を行うことで、外壁改修・屋外給水管更新など、ライフサイクルコストの縮小を行い市営住宅の長寿命化に貢献する改善工事を実施する。				
	<38> 活動・成果目標	長寿命化計画に基づき、長寿命化に取り組んだ市営住宅を増やす。	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
			千円	計画	計画	
			事業費等	千円	66,329	82,429
	人件費	千円	1,429	1,429		